

# 石川県河北郡津幡町字領家方言における 身体感覚を表すオノマトペ

江端 義夫

はじめに

1. 調査対象地：津幡（つばた）町は石川県のほぼ中央に位置し、金沢市から北陸本線の七尾線で北へ約10kmほどの近距離にある。東は小矢部市に、西は内灘町に、北は羽咋郡押水町などに接し、農業が主産業の穏やかな町である。平成2年の人口は、26,075人で、その多くが金沢市へ通勤している。就業者数の比率は第1次：第2次：第3次産業＝9.7：37.9：52.4である。
2. 調査年月日：1991（平成3）年10月21日
3. 話者：東田修（トーダ オサム） 昭和3年8月1日生、63歳
4. 調査者・調査場所：江端義夫、津幡町役場
5. 調査方法・調査時の様子：「方言資料叢刊」第2巻の調査票に準拠した質問調査（話者の説明の言葉は、<>で示す。）

## I 全身の感覚

### 1-1 快不快

さっぱり スッキリ<多>、サッパリ<少>

○汗をかいたが、風呂に入って～した。

### 1-2 寒さ

がたがた ブルブル、ガタガタ

○寒くて寒くて～震える。

ぶるぶる ブルブル、ガタガタ

○寒くて寒くて～震える。

ぞくぞく ソクソク<悪寒がする>

○風邪でもひいたのかな。～する。

すうすう ソクソク

○風邪をひいたみたいだ。背中が～する。

### 1-3 熱さ

ぼかぼか ボカボカ<アツナルともいう>

○酒を飲んだら身体が暖まって、～してきた。

かっか ボカボカ<アツーナルともいう>

○卵酒を飲んだら身体が～してきた。

## II 皮膚の感覚

ひりひり ヒリヒリ

○海水浴で日焼けして背中が～する。

べたべた ビッシヨリ

○今日は暑い。汗で背中が～する。

むずむず ムズムズ<コソバシー感じ>

○背中に何か入って～する。

もぞもぞ ムズムズ

○背中に何か入って～する。

かさかさ カサカサ、コスコス

○空気が乾燥していて、肌が～する。

がさがさ 該当語なし

すべすべ スベスベナツタ

○温泉に浸かって肌が～。

つるつる スベスベ、ツルツル (顔)

○温泉に浸かって肌が～する。

ずきずき ズキズキ<程度が弱い>、ズキンズキン<程度が強い>

○切り傷が～痛い。

ズキズキ

○ころんで強く打ったところが～する。

ひりひり ヒリヒリ

○擦り傷が～痛い。

ヒリヒリ

○やけどしたところが～する。

ずきんずきん ズキズキ

○できものが腫れてきた。～する。

ぼとぼと ズキズキ

○できものが膿んできた。～する。

\* ホトホト

○しもやけがひどくなって～する。

### Ⅲ 頭部の感覚

#### 3-1 頭

がんがん ガンガン

○熱があつて頭の奥が～する。

くらくら クラクラ、ポット

○熱で頭が～する。

ずきずき ズキズキ、ポット、ガンガン

○二日酔いで頭が～する。

ずきんずきん 該当語なし

#### 3-2 顔面

かっか カッカ<稀>、アツーナッテキタ<多>

○恥ずかしくて顔が～する。

ぼっと ポット

○恥ずかしくて顔が～する。

#### 3-3 目

ちかちか ポット、チカチカ<稀>、メガイタイ、メガツカレタ

○テレビを見すぎて、目が～する。

しょぼしょぼ ショボショボ、メガシミル、メガイターナル

○煙くて目が～する。

ごろごろ コロコロ

○目にゴミが入って、～する。

#### 3-4 耳

きーん チーン

ああ、うるさい。耳がまだ～とする。

ヒーん キーン<超音速機の音などに>

○ああ、うるさい。耳がまだ～とする。<擬音語は通常、不使用>

○エライ スヨイ オトヤ ナ。

じくじく ジクジク

○耳の中が腫れて汁が出ているようだ。～する。

#### 3-5 鼻

むずむず ムズムズ<ムズガユイ様子>

○くしゃみが出そうで、鼻が～する。

ぐじゅぐじゅ グズグズ、スーット<風邪の前兆で悪寒を伴う>

○風邪をひいたようだ。鼻が～する。

つーん ツーツ

○わさびを入れすぎて、鼻が～とする。

### 3-6 口

(口全体)

ねちゃねちゃ ネバネバ<ネンバツトル>

○納豆は臭いだ。口が～する。

\* スーット<スイー場合>

○梅干しを丸ごと食べると、口が～する。

\* トロット

○あんまり甘いものを食べたから口が～する。

(歯)

がちがち ガチガチ<多>、ガタガタ<少>

○寒かった。歯が～鳴っている。

かちかち ガチガチ<ガチガチスルともいう>

○寒かった。歯が～鳴っている。

ずきずき ズキズキ<痛みが弱く持続>、ズキンズキン<痛みが強く間遠>

○虫歯がひどくなって、歯が～する。

ちくちく 該当語なし

(舌)

ひりひり ヒリヒリ

○辛いカレーを食べたら舌が～する。

びりびり 該当語なし

### 3-7 喉

からから カラカラ

○水をくれ。喉が～だ。

いがいが イガイガ<稀>

○あくの抜けていないたけのこを食べて、喉が～する。<口あたりがすっきりしてい

(満腹)

たふたふ ダブダブ

○麦茶を飲みすぎてお腹が～する。

ちゃぼちゃぼ タボタボ、タボンタボン

○麦茶を飲みすぎてお腹が～する。

ちゃぶちゃぶ チャブチャブ<稀>

○麦茶を飲みすぎてお腹が～する。

ばんばん バンバン、バンバン<おおげさ>

○食べ過ぎた。腹が～だ。

(腹下し)

ごろごろ ニゴニゴ<盛ん>

○何か変なものを食べたようだ。腹が～する。<腹がすっきりしない時の言い方がニゴニゴスルである。「水が濁る」に由来するか。>

ぐるぐる グルグル<稀>、ニゴニゴ<盛ん>、ゴロゴロ<程度顕著時>

○何か変なものを食べたようだ。腹が～する。

びーびー シクシク

○下痢気味だ。腹が～する。<シクシクイタムのように使う。>

#### 4-4 胃

しくしく シクシク、ヒリヒリ<稀>

○困ったことが多くて(ストレスがたまって)胃が～痛む。

じくじく 該当語なし

きりきり キリキリ

○困ったことが多くて胃が～痛む。

#### 4-5 尻

むずむず ムズムズ

○居心地が悪い。尻が～する。<便通の直前の状態と居心地の悪さとの両方>

もそもそ モゾモゾ

○居心地が悪い。尻が～する。<落ち着きのない子の尻が揺れている状態の時>

#### V 手足の感覚

(手)

ぶるぶる ブルブル

ない時はホロコイという。ホロニガイともいう。この程度が過ぎると、ニガイになる。>

いがいが ムット

○この部屋は空気が悪い。喉が～する。<イキグルシーということもある。擬声擬態語でなく、直接の言い方になる。>

ぜえぜえ ゼーゼー

○息が苦しい。～いつている。<この他に程度の軽いものから著しいものへと、ヒューヒュー、ズーズー、ゼーゼーがある。他にイキグルシーも使う。>

ひゅうひゅう ヒューヒュー、ズーズー、

○息が苦しい。～いつている。

#### IV 胴体の感覚

##### 4-1 肩

こりこり コリコリ

○肩が凝って～する。

##### 4-2 胸

ドキドキ ドキドキ

○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。<ムネが シメツケラレル。>

どさんどさん ドキンドキ、キューツ

○ああ恐ろしかった。胸が～する。<子供は、ドッキンドッキンも使うが、成人は、使わない。>

とくんとくん 該当語なし

とっくんとっくん 該当語なし

きゅっと キューツ

○悲しくて悲しくて胸が～しめつけられる。

むかむか ムカムカ、ムカムカッ、ムカッ

○悪いものを食べたようで、胸が～する。

##### 4-3 腹

(空腹)

ぐうぐう グーグー

○お腹がすいて、～いう。<クークーとは、いわない。>

きゆるきゆる 該当語なし

○手が～震えて、箸が握めない。

(足)

がくがく ガクガク<多><ガタガタンナル>

(その他)

ぬるぬる ヌルヌル<多>、ヌラヌラ

○気持ちが悪い。～したものが足(手)にあたった。

ぬらっ(と) ヌルット<多>、ヌラット<大きい物体に触れて>

○気持ちが悪い。～したものが足(手)にあたった。

## VI 関節(骨)の感覚

ごきごき 該当語なし

ぐきぐき スキズキ<広く、痛みを表す。>

○寝違えて首が～する。

ばきばき ボキボキ

○そんなに曲げると、骨が～(と)折れそうだ。

ばきばき ボキット、ボキボキ

○そんなに曲げると、骨が～折れそうだ。

## VI その他

### まとめ

1. 腹下しの状態を表すときに、ニゴニゴスル、水腹のときにタボタバ、タボンタボンという語が得られた。特色のある語形といえる。
2. 「～する」「～とする」以外に、「～になる」の言い方が普通だと答えた例にも注目したい。たとえば、スベスベンナッタなど。
3. 「該当語なし」と表している項は、そのような共通語の文脈において、対応する語形が存在しない、というものである。文脈が違えば、掲出語形を使うことがありうるとの回答もあった。

象徴詞の使用は、文脈の状況と密着しているだけに、微妙である。

(えばた よしお 広島大学教育学部)